

プラネタリーヘルス

長崎大学の挑戦

■5■

多様な食文化の発展を



持田 恵一教授

情報データ科学部 教授

持田 恵一



Steffen W, Rockstrom J, et al. Planetary boundaries: guiding human development on a changing planet. *Science*. 2015;347(6223):1259855.をもとに改変

弱い地域では、現在に比べてより多くの食料を備蓄する必要があることが指摘されています。また、気候変動によって異なることによれば、気候変動に脆く影響を大きく受けける農業ですが、農業は地球環境に大きな影響も与えます。『プラネタリーバウンダリー』一団は、人類が地球上で安全に活動できる範囲を定義する概念で、いわば地球の許容限界を見えた化したものです。そこで示される九つの要素には、「窒素とりんの循環」「淡水の消費」「土地利用の変化」といった農業からの影響が大きいでしょう。こうした食料の価格高騰の影響は、中東やアフリカ諸国のような所得の大半が食費に充てられる

最近、食品の値上げのニュースをよく耳にします。その主な理由として、作物の需要増や天候不順による減収によって世界的に原材料価格が高騰したこと、原油価格の高騰によって輸送の費用や包装資材の価格が上昇したことなどが挙げられます。また、輸入小麥についてはウクライナ危機による供給懸念も一因でしょう。こうした食料の価格高騰の影響は、中東やアフリカ諸国のような所得の大半が食費に充てられる



同研究に関する
サイト

は、分野を超えた相互作用においてトレードオフを最小化するために、異なる分野間の協働が重要です。同時に、地球全体の健康を考える上では地域の多様性を捉えることも重要です。

現在私たちが食べている

作物は、長年の人類の歴史の中、地域の気候風土や栽培法に適応するよう栽培と育種も行われています。しかし、その背景には地球環境との複雑な相互作用があります。物事の間に相互作用がある場合、一方を追求するともう一方を犠牲にしなければならなくなるトレードオフが課題となることがあります。なぜなら、人々が私を喜め多くの人を魅了するように、食は、食事を楽しくおいしく食べる「喫食」経験を通して人

要素があり、肥料として使われている窒素とリンの循環に関しては既に危険域であることが指摘されています。そのため、人類を含む地球全体の健康の実現を目指すプラネタリーヘルスで

は、分野を超えた相互作用においてトレードオフを最小化するために、異なる分野間の協働が重要です。同時に、地球全体の健康を考える上では地域の多様性を捉えることが指摘されています。また、気候変動によつて極端な気象現象が増加し、これまでよりも多くの食料を備蓄する必要があることが指摘されています。また、気候変動によって異なることによれば、気候変動に脆く影響を大きく受けける農業ですが、農業は地球環境に大きな影響も与えます。『プラネタリーバウンダリー』一団は、人類が地球上で安全に活動できる範囲を定義する概念で、いわば地球の許容限界を見えた化したものです。そこで示される九つの要素には、「窒素とりんの循環」「淡水の消費」「土地利用の変化」といった農業からの影響が大きいでしょう。こうした食料の価格高騰の影響は、中東やアフリカ諸国のような所得の大半が食費に充てられる

最近、食品の値上げのニュースをよく耳にします。その主な理由として、作物の需要増や天候不順による減収によって世界的に原材料価格が高騰したこと、原油価格の高騰によって輸送の費用や包装資材の価格が上昇したことなどが挙げられます。また、輸入小麥についてはウクライナ危機による供給懸念も一因でしょう。こうした食料の価格高騰の影響は、中東やアフリカ諸国のような所得の大半が食費に充てられる